

平成28年度事業計画書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構
JRECO 情報処理センター

当機構は、平成27年1月27日にフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成13年法律第64号。以下「法」という。）第76条に規定する情報処理センターに指定されたことにより、法第77条に規定する業務を行う。

当機構における平成28年度のJRECO 情報処理センターの事業として、業務規程に基づいて以下を行う。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

①情報処理業務の内容

JRECO 情報処理センターは、法第77条に掲げる以下の情報処理業務を平成27年度に引き続き適切かつ確実に実施する。

- ・ 法第38条第1項及び法第40条第1項の規定による登録にかかる事務を電子情報処理組織により処理する。
- ・ 上記登録事務を電子情報処理組織により処理するために必要な電子計算機その他の機器を使用し、及び管理し、並びにプログラム、データ、ファイル等を作成し、及び保管する。
- ・ 法第38条第2項（法第40条第2項において準用する場合を含む。）の規定による通知並びに法第38条第3項（法第40条第2項において準用する場合を含む。）の規定による記録及び保存を行う。

また、本年度の情報処理業務に関して、平成28年度の年間登録件数は、9,600件を見込んでいる。これは、平成27年度の年間登録実数が1,203件であり、情報処理センターの認知が進んだことや、点検実施時期等の関係により平成27年度は第1四半期から第4四半期にかけて実績件数の伸び率が8倍になっていたことを勘案したものである。（添付資料A）

なお、平成28年3月1日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数は下記の通りである。

- ・ 管理者・廃棄者 4,797
- ・ 充填回収業者 1,288

（なお、充填回収業者の場合、1事業所で複数の都道府県を登録している都道府県をそれぞれ個別に累計した場合は 3,184）

②情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と、効率的な実施

人員体制は、本年度においては登録件数として昨年度の8倍の件数を見込むが、初年度であった昨年度のノウハウの蓄積等の活用を勘案して、昨年度と同様に、情報システム部4名体制としてシステムの適正な運用に当たることとする。

一方、情報処理センターについての認知に関しては、利用件数からしてもまだまだ不十分であることが伺えるため、情報処理センターの普及啓発のための広報活動を充実させるため普及啓発部、資格認定事業部より計3名の兼務者を任命しこれに当たらせることとする。

経理に関しては、情報処理センター利用のために預託された預かり金と、情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭を、収支計画書に基づき適切に管理する。なお、情報処理センター単体での収支実績及び計画は若干の赤字となっているが、当機構全体の収支の中において十分に吸収可能である。

(2) 情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

①機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器については、現在のデータ容量の使用領域は26GB(OSなどを含む全使用容量)で使用可能領域312GBの8.3%であることから、本年度の登録件数を8倍と見込んでデータ処理及びデータ容量に関しては十分に余裕があるため、機器の更新や拡充は行わずに現状維持とする。

また、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や効率性を高めるため、昨年度と同様に、システム仕様の変更や追加を随時行い、継続的に改善を図ることとする。

1) 平成27年度実績

- ・ 算定漏えい量出力方式(現CSV出力)に国への報告書にそのまま添付可能なPDF出力(様式第1第1表)(添付資料B)と国の算定漏えい量報告書支援ツールに合わせたCSV出力を追加した。
- ・ 充填回収業者の都道府県報告を法改正に対応した新形式に改訂し、法改正に対応した都道府県報告の作成を可能とした。
- ・ 充填回収業者の会社情報公開について、事業者登録時にチェックボックスで公開の有無を選択することにより、連動して業者一覧として公開・検索できるようにした。

2) 平成28年度計画

- ・ 環境省、経産省の告示の改正に合わせた仕様冷媒の種類追加

②システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、安定な運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアーウォールによる接続制限を設けている。システムの開発、変更、維持に関する運用管理の実務は外部委託による専門業者に一任し、JRECOからのサーバーへの直接の

アクセスも行えない仕組み（アクセスは Web 経由のみ）とすることで、万一 JRECO 内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターのシステムは隔離された環境としている。

委託先の運用管理者（専門業者）は、JRECO よりの要求に応じてシステムの開発や変更を行うと共に、不具合発生時の対応やサーバーの CPU 使用率によりシステム運用状況の監視を行っている。同運用管理者と JRECO とは、不定期ではあるが開発や仕様変更に関して 2～3 週に 1 度程度の情報交換を行っており、今後とも密な情報交換の維持を図ることとする。

なお、安定な運用については現時点では問題なく維持されており、設備能力も前述の通り当面は拡充や能力向上を図る必要はないと考えられるので、特段の事情の変化がない限り、今年度も昨年度と同様のシステムを維持することで対応を行うこととする。

（3）その他必要な事項に関する事項

平成 27 年度は HVAC&R JAPAN 2016 展示会への出展（添付資料 D）や新聞広告（添付資料 E）で周知広報活動を行ってきた。

平成 28 年度においても法の改正内容並びに情報処理センターの意義や利用方法の広報活動を行い、情報処理センターの利用の普及・推進を図る。

その一環として利用に関する説明会を全国主要都市において計 60 回程度開催する予定であるが、それに加え昨年度と同様に潜在利用者の要請に対しては個別に説明会を開催し対応する。

日程が確定している 5 月から 8 月までの説明会は、東京 16 回、大阪 2 回、名古屋 2 回、仙台 2 回、福岡 2 回で開催予定である。（添付資料 F）

広報活動としては、車内広告や雑誌への広告掲載を利用して情報処理センターの認知度の向上を図る。（添付資料 G、H、I）

また、情報処理センターの分かり易い紹介提案書を作成し関係先等に広く配布していく予定である。さらに既に利用している利用者の実例等を紹介していく予定である。

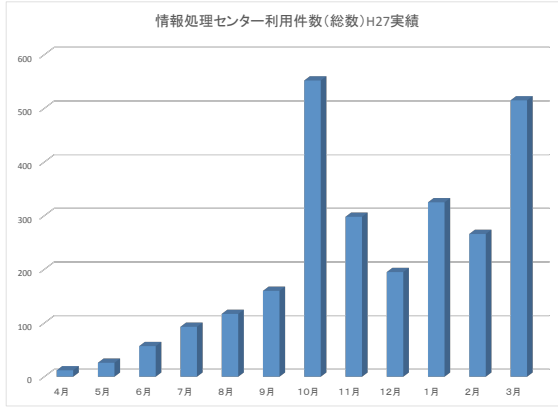
なお、情報処理センター利用者からの質問等に対しては、引き続き疑問点の解消やセンター利用に関する指導や助言を適切に行っていく。

[添付資料]

- A. 情報処理センター利用実績及び登録件数見込み
- B. 算定漏えい量 PDF 出力サンプル
- C.
- D. HVAC&R JAPAN 2016 展示会
- E. 新聞広告
- F. 説明会開催予定
- G. 雑誌広告（東冷協だより）
- H. 雑誌広告（冷凍空調設備）
- I. 車内広告

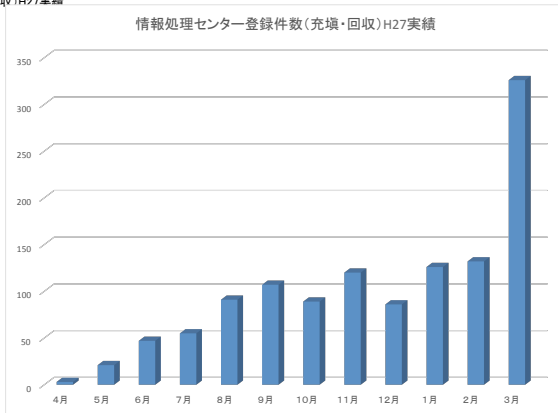
平成27年度 情報処理センター利用件数(総数)H27実績

4月	12
5月	26
6月	57
7月	93
8月	117
9月	160
10月	552
11月	298
12月	195
1月	325
2月	266
3月	515
計	2,616



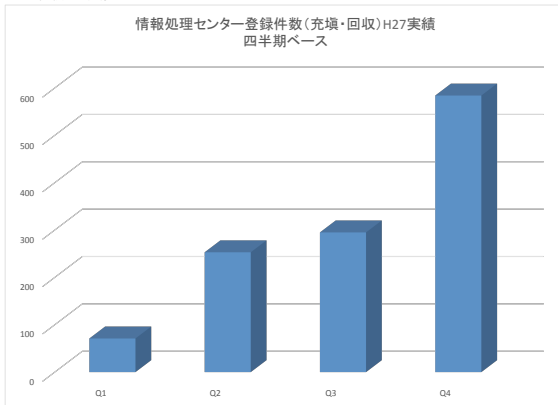
平成27年度 情報処理センター登録件数(充填・回収)H27実績

4月	3
5月	21
6月	47
7月	55
8月	91
9月	107
10月	89
11月	120
12月	86
1月	126
2月	132
3月	326
計	1,203



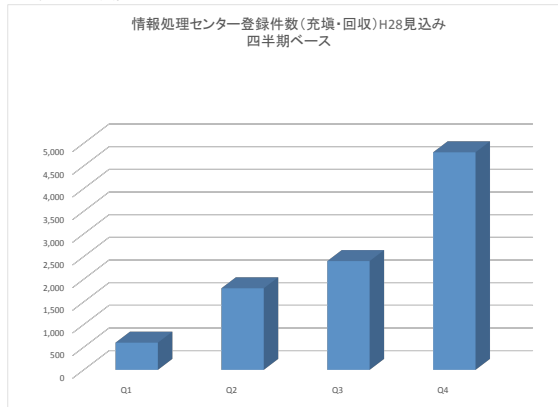
平成27年度 情報処理センター登録件数(充填・回収)H27実績 四半期ベース

Q1	71
Q2	253
Q3	295
Q4	584
計	1,203



平成28年度 情報処理センター登録件数(充填・回収)H28見込み 四半期ベース

Q1	600
Q2	1,800
Q3	2,400
Q4	4,800
計	9,600



開催概要



2016年2月23日(火)～26日(金)
東京ビッグサイト 東1・2ホール

- ◆ 名称 HVAC&R JAPAN 2016 (ヒーパックアンドオールジャパン) 第39回冷凍・空調・暖房展
- ◆ 開催日程 2016年2月23日(火)～26日(金) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)
- ◆ 会場 東京ビッグサイト 東1ホール・東2ホール
- ◆ 主催 一般社団法人日本冷凍空調工業会
- ◆ 後催 経済産業省(予定)
- ◆ 出展社数 188社 / 734小間(予定)
- ◆ 入場料 1,000円(事前登録もしくは招待状持参で無料)
- ◆ 併催行事 HVAC&R JAPANセミナー(基調講演、一般講演、企画セミナー)、出展者プレゼンテーション、情報発信コーナー、施設見学会 他

登録者実績

	天気	HVAC&R JAPAN	前回実績
2月23日(火)		5,867	6,655 (6,655)
2月24日(水)		7,774	9,473 (7,862)
2月25日(木)		7,721	9,566 (7,694)
2月26日(金)		6,021	7,464 (5,305)
4日間合計		27,383	33,158 (27,516)

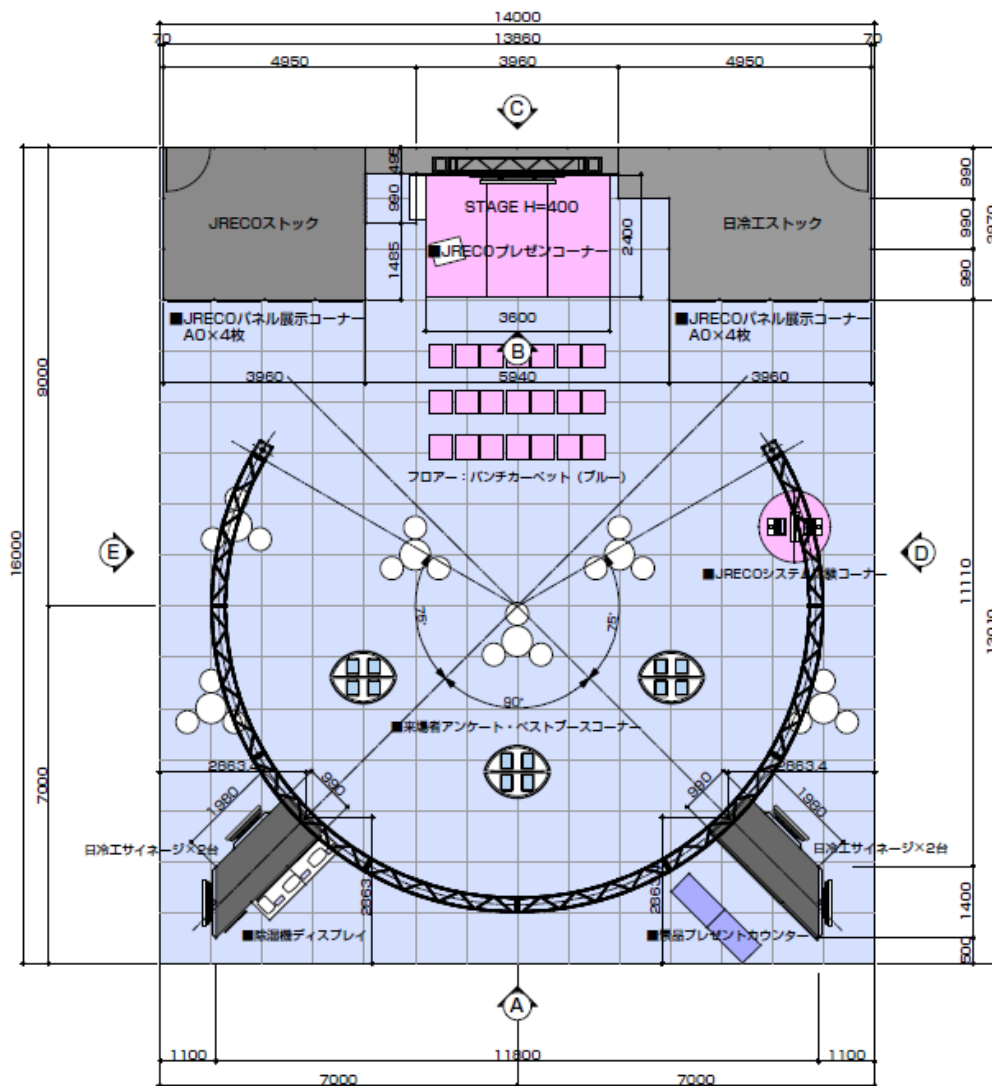
※前回実績の欄は、上段は同時開催のENEX展を含む登録者数、下段はHVAC&R単独の登録者数です。

※HVAC&R 公式HPより抜粋



さあ、グッドな未来の冷熱技術を見にいこう。

ブースイメージ/平面図



ブース写真

ブース全景

※画像取扱注意
※画像の2次流用厳禁



プレゼンステージ



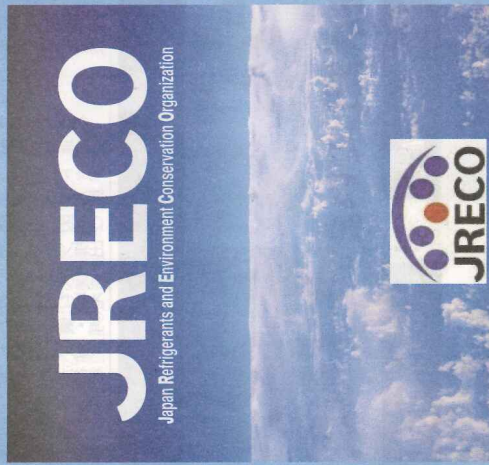
冷媒管理システム体験コーナー

ステージ全景/パネル展示



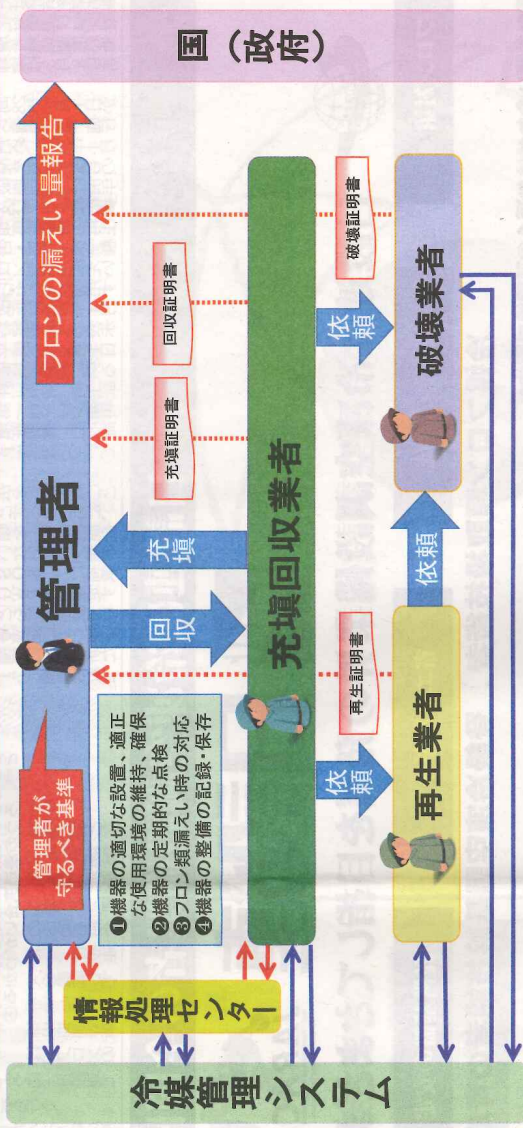
「フロン排出抑制法」への対応でお困りの点はありませんか？

JRECOでは、「情報処理センター」の機能を備え、利用者の利便性を考慮し、各立場の方々に活用頂ける電子的な「冷媒管理システム」の提供を行っています。



ワンストップで各分野フロン類対策の支援・推進をはかる

- 冷媒管理システム(情報処理センター)の強固な構築で利用者の利便性拡大
- 信頼ある技術者の育成(資格認定事業)
- フロン類に関するシンクタンクとしての調査・発信
- 政策への協力(補助金事業の実施等)
- 「フロン排出抑制法」の周知活動
- フロン回収行程管理票等の提供



- 整備時の充填・回収証明書や点検・整備記録簿を電子的に作成、保管することができ、紙面による煩雑な事務作業から解放されます。
- 簡易点検、定期点検が点検・整備記録簿に登録でき、機器一覧参照で点検時期の把握も容易になります。
- 算定漏えい量は点検・整備記録一覧にも表示されますので、管理者は簡単に状況確認ができます。
- 管理者の算定漏えい量集計・報告、充填・回収業者の年度報告の出力、保存が簡便に行えます。

→詳しくは、JRECOにお問合せください

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構
(JRECO) <http://www.jreco.jp/>

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館406-2

TEL 03-5733-5311 FAX 03-5733-5312

平成28年度 冷媒管理システム（情報処理センター）説明会 開催計画

回	開催場所（都市名）	開催日	講座種別（対象業種）	定員数（名）
1	東京	2016/5/10	充填回収業者	30
2	東京	2016/5/10	管理者	30
3	東京	2016/5/26	充填回収業者	30
4	東京	2016/5/26	管理者	30
5	東京	2016/6/08	充填回収業者	30
6	東京	2016/6/08	管理者	30
7	大阪	2016/6/15	充填回収業者	30
8	大阪	2016/6/15	管理者	30
9	東京	2016/6/21	充填回収業者	30
10	東京	2016/6/21	管理者	30
11	東京	2016/7/05	充填回収業者	30
12	東京	2016/7/05	管理者	30
13	福岡	2016/7/12	充填回収業者	30
14	福岡	2016/7/12	管理者	30
15	東京	2016/7/28	充填回収業者	30
16	東京	2016/7/28	管理者	30
17	仙台	2016/8/2	充填回収業者	30
18	仙台	2016/8/2	管理者	30
19	東京	2016/8/23	充填回収業者	30
20	東京	2016/8/23	管理者	30
21	名古屋	2016/8/26	充填回収業者	30
22	名古屋	2016/8/26	管理者	30
23	東京	2016/8/30	充填回収業者	30
24	東京	2016/8/30	管理者	30
25	大阪	2016/9/6	充填回収業者	30
26	大阪	2016/9/6	管理者	30
27	東京	2016/9/13	充填回収業者	30
28	東京	2016/9/13	管理者	30
29	札幌	2016/9/27	充填回収業者	30
30	札幌	2016/9/27	管理者	30
31	東京	2016/9/29	充填回収業者	30
32	東京	2016/9/29	管理者	30
33	岡山	2016/10/6	充填回収業者	30
34	岡山	2016/10/6	管理者	30
35	東京	2016/10/13	充填回収業者	30
36	東京	2016/10/13	管理者	30
37	新潟	2016/10/20	充填回収業者	30
38	新潟	2016/10/20	管理者	30
39	東京	2016/10/25	充填回収業者	30
40	東京	2016/10/25	管理者	30
41	仙台	2016/11/	充填回収業者	30
42	仙台	2016/11/	管理者	30
43	東京	2016/11/	充填回収業者	30
44	東京	2016/11/	管理者	30
45	名古屋	2016/11/	充填回収業者	30
46	名古屋	2016/11/	管理者	30
47	福岡	2016/11/	充填回収業者	30
48	福岡	2016/11/	管理者	30
49	東京	2016/12/	充填回収業者	30
50	東京	2016/12/	管理者	30
51	静岡	2016/12/	充填回収業者	30
52	静岡	2016/12/	管理者	30
53	大阪	2016/12/	充填回収業者	30
54	大阪	2016/12/	管理者	30
55	東京	2017/1/	充填回収業者	30
56	東京	2017/1/	管理者	30
57	東京	2017/2/	充填回収業者	30
58	東京	2017/2/	管理者	30
59	東京	2017/3/	充填回収業者	30
60	東京	2017/3/	管理者	30

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

東冷協だより

2016.

5

No.364

● 目次

- ・今、思うこと 1
- ・お知らせ 2
- ・技術レポート 8
- ・サロン 10
- ・リレー訪問 15
- ・会員トピックス 16
- ・業界情報 17
- ・行事報告 17
- ・東冷協日誌 18
- ・行事予定 18
- ・ちょっと一息! 19
- ・税のコラム 20
- ・法のコラム 21
- ・新聞記事情報 22
- ・会員の動向 23



2015年4月、フロン排出抑制法により

フロン類算定漏えい量の報告が義務化されました

「冷凍空調機器」の整備業者のみな様! 必見!

管理者様には1年間のフロン類算定漏えい量の報告が必要です。
報告を怠ったり、虚偽の申請をした場合は過料に処されます。

JRECO 冷媒管理システム『RaMS(ラムズ)』の導入で 多くの管理者様にご好評いただいております。

システム導入前の書類提出

システム導入後の書類提出



2015年4月施行の「フロン排出抑制法」により、管理者の報告管理も増大しています。

JRECOが運用する国が指定した唯一の「情報処理センター」と連動した管理システム「RaMS(ラムズ)」を使えば、点検時期が色分け表示されますので、顧客管理が簡単にできます。また、報告書の作成もワンクリックで簡単にできます。

これで、「フロン排出抑制法」を効率的にクリアし、御社の業務効率も改善できます!!



国指定の
フォーマットで報告書の
出力・保存ができる!



漏えい量の算定や
点検情報など、全ての設置
機器を一括管理できる!



充填回収業者との
書面やりとりも
システム上で管理できる!

JRECO「冷媒管理システム」は、国から指定を受けた唯一の「情報処理センター」でもあります。

詳しくは JRECO で検索!



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 406-2
TEL:03-5733-5311 FAX:03-5733-5312
<http://www.jreco.or.jp/>

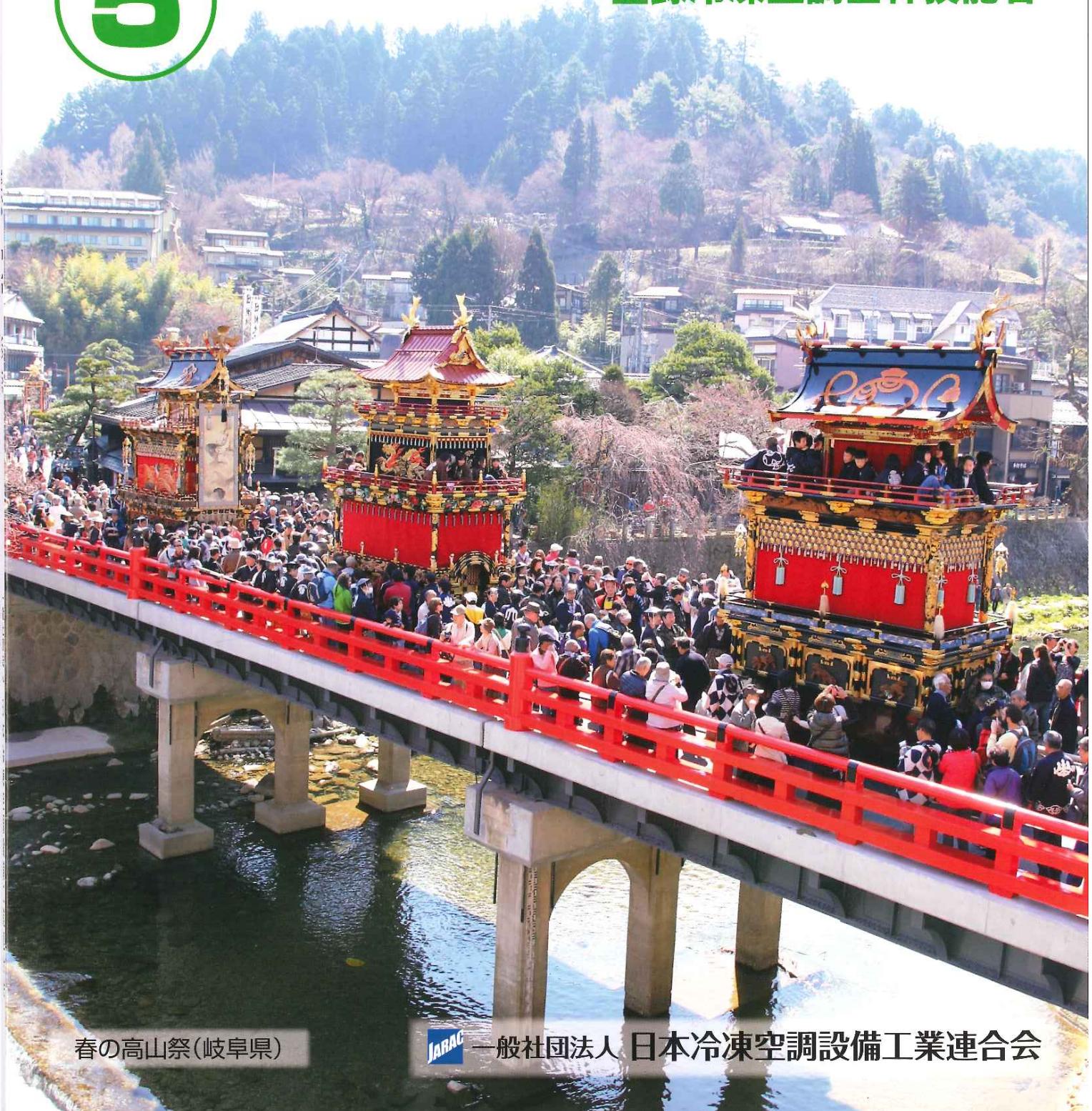
冷凍空調設備

REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

5

Vol.43 No.5
2016 May

平成27年度 経済産業省委託事業報告
登録冷凍空調基幹技能者



春の高山祭(岐阜県)



一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

2015年4月、フロン排出抑制法により

フロン類算定漏えい量の報告が義務化されました

「冷凍空調機器」の整備業者のみな様! 必見!

管理者様には1年間のフロン類算定漏えい量の報告が必要です。
報告を怠ったり、虚偽の申請をした場合は過料に処されます。

JRECO 冷媒管理システム『RaMS(ラムズ)』の導入で

多くの管理者様にご好評いただいております。

システム導入前の書類提出



システム導入後の書類提出



2015年4月施行の「フロン排出抑制法」により、管理者の報告管理も増大しています。

JRECOが運用する国が指定した唯一の「情報処理センター」と連動した管理システム「RaMS(ラムズ)」を使えば、点検時期が色分け表示されますので、顧客管理が簡単にできます。また、報告書の作成もワンクリックで簡単にできます。

これで、「フロン排出抑制法」を効率的にクリアし、御社の業務効率も改善できます!!



国指定の
フォーマットで報告書の
出力・保存ができる!



漏えい量の算定や
点検情報など、全ての設置
機器を一括管理できる!



充填回収業者との
書面やりとりも
システム上で管理できる!

JRECO「冷媒管理システム」は、国から指定を受けた唯一の「情報処理センター」でもあります。

詳しくは JRECO で検索!



一般財団法人 **日本冷媒・環境保全機構**
Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 406-2
TEL:03-5733-5311 FAX:03-5733-5312
<http://www.jreco.or.jp/>

最
LE
リ
漏えい
大接
灯、
ンサ
漏えい
速漏
た、
容易に
沼小
ーク
電源
置が
まざ
沼小型

株
本
東
京
物
流

収支予算書(平成28年度計画)

(情報処理センター)

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園3-5-8
機械振興会館406-2

予定貸借対照表

平成29年 3月31日見込み

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

科 目	平成28年度見込み
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	280,000
流動資産合計	280,000
2. 固定資産	
ソフトウェア	1,101,393
固定資産合計	1,101,393
資産合計	1,381,393
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払法人税等	0
預り金	200,000
実施事業勘定	2,658,291
流動負債合計	2,858,291
負債合計	2,858,291
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
2. 一般正味財産	-1,476,898
正味財産合計	-1,476,898
負債及び正味財産合計	1,381,393

予定正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

科 目	情報処理センター28年度見込み
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取民間助成金	180,000
事業収益	1,000,000
雑収益	0
経常収益計	1,180,000
(2) 経常費用	
事業費・管理費	
人件費	800,000
委託費(サーバー使用料、システム保守費)	2,500
システム開発引当金繰入額	0
減価償却費	240,000
賃借料(事務所費等)	125,400
旅費、交通費	65,000
通信運搬費	0
印刷製本費	0
広報費(パンフレット作成費)	150,000
銀行口座手数料	20,000
会議費・研修費	10,000
消耗品費・消耗什器備品・修繕費	10,000
租税公課その他	0
経常費用計	1,422,900
評価損益等調整前当期経常増減額	-242,900
評価損益等計	0
当期経常増減額	-242,900
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
税引前当期一般正味財産増減額	-242,900
法人税・住民税及び事業税	0
当期一般正味財産増減額	-242,900
一般正味財産期首残高	-1,233,998
一般正味財産期末残高	-1,476,898
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
III 正味財産期末残高	-1,476,898